

社会資本整備審議会道路分科会 第28回東北地方小委員会
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和2年2月7日（金）13：30～15：10

2. 場 所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予報センター

3. 出席委員

小野澤 章子	岩手大学 人文社会科学部 准教授
高樋 忍	（公社）青森観光コンベンション協会 理事
浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授
宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部現代ビジネス学科 教授

4. 議事内容

□審議結果

【下北半島縦貫道路 野辺地～七戸】計画段階評価（1回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・第1回意見聴取を進めることでした承された。

【仙台東道路】計画段階評価（2回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・ルート帯・構造案の検討を進めることでした承された。

【国道4号 盛岡南道路】計画段階評価（3回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・小委員会として対応方針（案）【バイパス案：バイパス整備により道路交通の機能分担を図り、主要幹線道路としての機能を確保するとともに、物流拠点や第三次医療施設へのアクセス向上を図る案】は妥当と判断された。

□主な意見

【下北半島縦貫道路 野辺地～七戸】

- ・アンケート配布に関して、より多くの回答を得るためにアンケートに対して2通の回答はがきを添付するなどの工夫をすること。
- ・地域の高齢化が進んでいる等の状況を踏まえ、デイサービスの送迎等も考えられることから福祉関係者をヒアリング対象にすること。

【仙台東道路】

- ・ 仙台都市圏の将来ビジョンや開発プラン等と一体となった計画が重要であるため、
 今後は他の計画と調整しながら、検討を進めること。
- ・ ルート帯・構造の検討の際には、景観についても配慮すること。

【国道4号 盛岡南道路】

- ・ 都市機能が分断しないよう配慮するとともに、西徳田交差点が新たなボトルネックとならないよう留意すること。